

音楽科	第1学年	1年間の学習内容とねらい
-----	------	--------------

**音楽科の達成目標**

- 音や音楽への興味関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする意欲を身につけさせる。
- 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音との関わり合い、形式などや、速度・強弱の働きを知覚し、音楽の持つ曲想や美しさを感じ取る能力を身につけさせる。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、曲に対する自分の解釈やイメージを、音を通して適切に表現していくため、発声や楽器の扱い、読譜力などの基本的な表現の技能を身につけさせる。
- 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素のはたらきによる効果、我が国の音楽および世界の諸民族の音楽の特徴などを感じ取らせる。

**評価の観点・方法**

- 【評価の観点】**
- 知識・技能
  - 思考・判断・表現
  - 主体的に学習に取り組む態度
- 【評価の方法】**
- 実技テスト（歌唱・器楽）
  - 実技テストのふりかえりシート
  - 鑑賞ワークシート
  - 自己評価・相互評価
  - 授業の取り組み
  - 定期テスト（年3回）

**特色ある学習方法**

- VTR等を利用した合唱の取り組み（合唱コンクール・卒業式の映像など）
- 伝統音楽を大切にする態度を育て、和楽器や郷土の音楽を取り入れた学習

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○《校歌》 【歌唱】</li> <li>○《夢の世界を》 【歌唱】</li> <li>○ヴィヴァルディ： 《春》 【鑑賞】</li> <li>○浜辺の歌 （心の歌） 【歌唱・鑑賞】</li> <li>○アルトリコーダー 《喜びの歌》 など 【器楽】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しいクラスの仲間と歌声を合わせ、歌う楽しさを味わい、音楽活動への意欲を高める。</li> <li>○歌詞の内容と曲想とのかかわり、曲の構成などの特徴を理解し、表現を工夫し合わせて歌う。</li> <li>○混声三部合唱を創り上げる手順をつかむ。</li> <li>○合唱のパート練習ができるようにする。</li> <li>○諸要素の働きを理解し、曲想とのかかわりを感じ取りながら、弦楽合奏の響きを鑑賞する。</li> <li>○8分の6拍子のリズムと伴奏の波の動きを感じながら、情景を思い浮かべて歌う。</li> <li>○アルトリコーダーの運指と基本的な奏法に慣れ、響きを聴きながら演奏する。</li> </ul>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合唱コンクールの 学年合唱曲 クラス曲 【歌唱】</li> <li>○《赤とんぼ》 （心の歌） 【歌唱・鑑賞】</li> <li>○シューベルト： 《魔王》 【鑑賞】</li> <li>○アルトリコーダー 《聖者の行進》 など 【器楽】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○声部の役割と全体の響きとの関わりを感じ取り、音楽の構成を生かした表現を工夫する。</li> <li>○日本語のもつ美しさと抑揚が生かされた旋律を味わい、表現を工夫して歌う。</li> <li>○諸要素の働きを理解し、曲想とのかかわりを感じ取りながら、多彩な声の表現を鑑賞する。</li> <li>○アルトリコーダーの運指と基本的な奏法に慣れ、響きを聴きながら演奏する。</li> </ul>
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア地域の諸民族の音楽、 《六段の調》 《カヤグム・グーチンの音色》 《さくらさくら》 【鑑賞・器楽】</li> <li>○卒業式歌《群青》 【歌唱】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア地域の諸民族の音楽の特徴を感じ取り、それぞれの音楽のよさを聴く。</li> <li>○箏の基礎的な奏法に慣れ、響きを聴きながら演奏する。</li> <li>○歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きを生かして表現を工夫する。</li> </ul>